

神奈川新聞

THE KANAGAWA

2026年〔令和8年〕

9月9日〔水〕

仏滅

◎神奈川新聞社 30157号

〒231-8445 横浜市中区太田町2-23

総合受付 045-227-1111〔1ヵ月3500円・1部140円〕

生前対策から相続税申告まで相続の専門家集団としてサポートします。

全16拠点(駅近)で 安心の無料相談!

相談250,000件以上! 相続税申告11,000件超!



ランドマーク税理士法人グループ

お問い合わせ フリーダイヤル 0120-48-7271

家奪われ暑さ

激震再び

熊本地震の教訓

<1>

「暑かですね…。家の解体は進まんし、住む場所どころもなかつた。いつまで続くだろう。泣きたいくらいです」

屋根に開いた大きな穴から、容赦ない日差しが照りつける。壁も崩れ落ち、割れたガラスや家財の破片が散らばる室内。玄関には「危険」の赤紙が貼られていた。

最大震度7を観測した地震からおおよそ3週間。熊本県水川町の木村富子さん(77)は、日中は自宅で、夜は小学校の避難所か軒先の簡易住宅「インスタントハウス」で過ごしてきた。

しかし、新学期を前にした8月26日、小学校の避難所は閉鎖されることに。厳しい暑

さと終わりの見えない片付けで心身ともに疲れ果てているのに、ゆっくり休める場所はなくなった。

「テント暮らしは何年も続けられん。煮炊きもできないし、用を足すにもボータブルトイレしかない」。夫の広行さん(74)と近くの市まで車を走らせて住む場所を探すか、「アパートなかとです。『今のところ、とても空いてらん』と言われるだけだった」。

7月28日午後4時27分。台所で料理をしていると「ドーン! ドーン!」と地鳴りのような音が2、3回響いた。直後には「グワッ」という音とともにテレビが倒れ、激

猛暑

「真夏とがな

しい横揺てきた電さんの腰傷を負ったにけ「たままってか根が崩れて、地だ。隣接す温35度以けで25日同3日に度を記録をしての疑いで

日銀今月会合利上げへ

ペース加速 1.25%、31年ぶり水準

日銀が17、18日に開く次回

の金融政策決定会合で、政策金利を現在の1・0%程度から1・25%程度に引き上げを決める方針であることが8日、分かった。政策金利が1・25%になれば、約31年ぶりの高水準となる。原油高や円安が想定以上に物価を押し上げるリスクに対応する。利上げを決めれば6月会合以来3ヵ月ぶり、これまでよりも

利上げのペースが加速する。日銀は政府にも利上げ方針を伝えた。

日銀は2024年3月にマイナス金利を解除して以降、おおむね半年に1回利上げを進めてきた。輸入品の価格を押し上げる円安は日米の金利差の影響が大きい。円安は正を求める声が強まり、ペース加速を後押ししたとみられる。会合まで経済や物価の状況を点検

し、最終判断する。米国の日銀への利上げ圧力を強めていることも背景にある。米国は円安や日本国債の金利上昇が、米

国債の金利上昇に波及することを警戒している。ベセント米財務長官は8月31日、米メディアで「日本政府と日銀は円高につながる措置を講じると確信している」と述べ、日銀の利上げ判断に圧力をかけてい